

(様式1)

常教学第29号

令和2年11月30日

文部科学大臣 殿

茨城県常総市長

神達 岳志 印

施設整備計画の事後評価について

学校施設環境改善交付金交付要綱第8に基づき、下記のとおり施設整備計画の目標の達成状況に係る評価（事後評価）の結果を報告します。

1. 施設整備計画の名称

常総市公立学校施設整備計画

2. 計画期間

平成30年度～平成30年度（1年間）

（担当）

常総市教育委員会学校教育課

住所：茨城県常総市新石下4310番地1

電話：0297-44-6346

(様式2)

### 3. 事後評価の実施

#### (1) 実施時期

令和2年11月 評価結果を決定

#### (2) 評価の方法

本計画の目標達成状況を評価するための指標として、目標ごとに以下の指標を設定し、事業の成果を定量的に評価する。

- (1) 耐用年数の増加
- (2) 屋内体育館修繕及び工事件数
- (3) トイレの洋式化

### 4. 総合的な所見

施設整備計画の目標は、おおむね達成できた。  
既存施設を長期利用するための長寿命化を図ることができた。  
あわせて、屋内運動場のトイレの洋式化することで、災害時に避難所として活用する場合の衛生環境を改善することができた。

### 5. 各目標の達成状況

#### (1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

常総市水海道中学校及び水海道西中学校の屋内体育館の長寿命化改良については、長寿命化に係る個別施設計画のとおり実施し、目標にある長寿命化を図ることができた。

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

衛生上の問題が懸念されていた水海道中学校屋内運動場のトイレ環境を洋式化することで、衛生環境を改善することができた。あわせて多目的トイレを整備し、バリアフリー化を実現することができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
水海道中学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	RS	H30.6～H31.1	H31.2.15		
水海道中学校	(4)	07	大規模改造(トイレ)	屋	-	H30.6～H31.1	H31.2.15		
水海道西中学校	(1)	06	大規模改造(老朽)	屋	S	H30.5～H30.12	H30.12.27		